

平成19年10月23日

各位

会社名 児玉化学工業株式会社  
代表者名 取締役社長 宇川 進  
(コード番号 4222 東証第2部)  
問合せ先 経理部長 大橋輝男  
(TEL. 03 - 3834 - 0511)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年5月22日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正致しましたのでお知らせ致します。

#### 記

1. 平成20年3月期中間業績予想数値の修正(平成19年4月1日~平成19年9月30日)  
(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	7,920	180	140	130
今回修正予想(B)	6,640	80	70	60
増減額(B-A)	1,280	100	70	70
増減率(%)	16.2	55.6	50.0	53.8
(ご参考) 前期実績(平成19年3月期中間)	7,743	165	172	109

2. 平成20年3月期業績予想数値の修正(平成19年4月1日~平成20年3月31日)  
(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	16,500	410	320	300
今回修正予想(B)	15,000	300	310	290
増減額(B-A)	1,500	110	10	10
増減率(%)	9.1	26.8	3.1	3.3
(ご参考) 前期実績(平成19年3月期)	15,135	282	321	216

### 3. 修正の理由

(1) 中間期の売上高・営業利益は、第1Qでの住宅設備分野で大手ユーザーにおけるリコール問題の影響が大きく、当初予想を下回る見込みです。

経常利益・当期純利益は、売上減少による大幅な減益があるも、合理化による固定費低減効果などで一部をカバーし、黒字基調は堅持する見込みです。

(2) 通期の売上高・営業利益は、中間期における住宅設備分野の売上減少分を下半期では挽回しきれず、加えて、耐震偽装対策で新しい基準での審査遅れの影響から急激な新規着工の減少、需要の冷え込みは一段と厳しく、深刻な状況となっています。緊急事態と認識し、コア事業以外の成形加工品の受注活動も視野入れ、売上水準の底上げを図る予定ですが、当初予想を下回る見込みです。

経常利益・当期純利益は、売上減少による大幅な減益があるも、合理化による固定費低減効果などで一部をカバーし、黒字基調は堅持する見込みです。

なお、連結業績予想につきましては、現在集計中であります。

(注) 上記の予想は本資料発表日現在の将来に関する前提・見直し・計画に基づく予測が含まれています。実際の業績は今後様々な要因によって記載の予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上